

令和4年第1回北海道議会定例会 一般質問 開催状況 (環境生活部)

開催年月日 令和4年3月11日(金)
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 知事 鈴木 直道
 環境生活部長 森 隆司

質問要旨	答弁要旨
<p>七 痴漢・盗撮被害撲滅の取組について (一) 痴漢・盗撮に関する認識とこれまでの対策について 被害にあっても声を上げにくい痴漢や、気づきにくい盗撮は、極めて卑劣な犯罪です。 痴漢・盗撮に対する認識と、これまでの対策について、知事及び警察本部長に伺います。</p> <p>(二) 実態把握と今後の対策について 福岡県警察鉄道警察隊は、痴漢や盗撮などの根絶を目指す、抑止・検挙活動とともに、昨年、2ヶ月にわたるインターネットでの実態調査を行っています。 道警察が把握している痴漢・盗撮被害の実態と他府県の動向についても併せてお示し願います。 本道においても、より広く実態を把握し、強い決意をもって撲滅する必要があります。 公共交通機関との連携も含め、知事及び警察本部長はどのように取り組むのか伺います。</p>	<p>(環境生活部長) 性犯罪の防止に向けた取組についてでございますが、痴漢や盗撮は被害者の心身に大きな影響を与えるとともに、その尊厳を著しく傷つける卑劣な犯罪であり、決して許されるものではないと考えております。 このため、道といたしましては、安全で安心な地域づくりを進めるための指針である北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進方策におきまして、性犯罪を含む子供や女性を対象とした犯罪の被害防止を重点的な取組と位置づけ、メールマガジンやリーフレットによりまして、被害を未然に防止するためのポイントの周知や注意喚起を行っているほか、毎年、道警察や札幌市と連携し、拠点となる複数の地下鉄やJRの駅において街頭啓発の実施などに取り組んでいるところでございます。 また、地域の防犯団体や企業等と協力した、安全・安心どさんこ運動の展開を通じ、犯罪のない地域の実現を目指し、地域コミュニティの力を高め、互いを思いやる気運を醸成するための取組を行っているところでございます。</p> <p>(知事) 性犯罪被害の防止についてであります。道ではこれまで、道警察の協力を得ながら性犯罪やつきまといなどの前兆となる事案に対する情報を把握し、被害防止の啓発等に反映させているところであります。 また、安全で安心な地域づくりを総合的かつ効果的に推進することを目的とする北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議において、構成機関であるJR北海道や札幌市、北海道バス協会と性犯罪に関する発生状況等の情報共有を図るとともに、その傾向を踏まえた対策を実施しています。 道としましては、今後とも、道警察や事業者の方々と連携し、被害の実態把握に努め、それに応じた対処方法や、社会全体で痴漢・盗撮は許さないという意識の醸成を図るための効果的な啓発を実施し、性犯罪被害の防止はもとより、道民の皆様が安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けて積極的に取組を進めてまいります。</p>